

シニアフォレスター会議北海道セミナー の開催について（報告）

大 政 康 史

平成5年11月5日から8日までの4日間、北海道を舞台にして「持続可能な熱帯天然林経営の確立にむけて」をテーマに「シニアフォレスター会議フォローアップセミナー」が開催された。これは、一昨年横浜市において行われたシニアフォレスター会議のフォローアップ活動の一環として、昨年広島でのセミナー（人工林・小規模林産業等が主なテーマ）に引き続いて開催されたものである。以下この概要について簡単に報告したい。

このセミナーは、林野庁と国際熱帯木材機関（ITTO）との共催により、外務省・北海道等の後援を受けて開催されたものであり、ITTOに加盟している熱帯木材生産国10か国・熱帯木材消費国15か国・非ITTOメンバー国2か国の世界27か国（日本含まず）及び1国際機関（国連大学）からの総勢78名（うち外国人46名）が参加した。

11月5日空路旭川入りした一行は、まず北海道立林産試験場を視察した。ここでは主に北海道産樹種を対象にして未利用・低利用材の高度利用技術の研究・開発という点を中心に見学し、この様な技術開発が主に天然林材の有効利用に大きく貢献するということが、改めて認識された。

二日目は、午前中富良野市にある東京大学附属北海道演習林の視察を行った。この演習林は、研究活動だけではなく森林内容の充実と収益性とを両立させた天然林施業を行っており、セミナーでの講演者である東大の渡邊教授より、天然更新試験地・択伐林伐採現場・山火事後の再生林施業現地・林道開設方法を中心に講演内容にそった説明が行われた。午後からは、旭川営林支局管内金山営林署の国有林を視察し、大学演習林だけでなく国有林の現場においても、持続可能な天然林施業が行われていることを認識した。

第三日目からは、二日間の視察を踏まえてのセミナーが札幌市内の北方圏センターにおいて開催された。林野庁長官の挨拶の後、ジョン・フランソワ議長（ガーナ森林管理局長）、ニルス・セヴァンクウイスト書記（スウェーデン：国際林業コンサルタント）によってセミナーは運営され、まず以下の基調報告が行われた。

①「日本における天然林経営の概略」弘中義夫（林野庁指導部長）……日本における森林の利用と保全の歴史を述べるとともに、現代における天然林経営の林野庁の方針や施業などを説明した。

②「択伐天然更新に基づく持続可能な管理された森林」渡邊定元（東京大学教授）……理想的な持続可能な管理された森林とは、高蓄積・高生長量・高収益性・多目的利用・生物多様性の5つの条件を満たす森林であるが、これらの要件は相矛盾している。しかし択伐を基本とする天然林施業を行えばこの5つの条件を同時に満たすことが可能であり、そのための林分施業法を紹介した。

③「フィリピンの天然林経営」リカルド・M・ウマリ（フィリピン：環境天然資源省次官）……フィリピンの土地利用の形態を紹介し、森林における問題点等の現状を分析した。またフィリピン持続開発戦略（PSSD）に基づいて環境天然資源省（DENR）が行っている森林開発基本計画について説明した。

④「西アフリカにおける熱帯林の持続可能な経営に関する森林施業の方策」マーチン・パークレイ（イギリス：国際林業コンサルタント）……西アフリカにおける熱帯林の減少の歴史を述べるとともに、これから導かれる温帯林・熱帯林双方に当てはまる問題点を明らかにした。

⑤「ブラジルにおける天然林経営」ヘルベルト・シュバート（ブラジル：元国立アマゾン研究所長）……ブラジルの森林資源及び木材生産を内面から本質的にとらえ、ブラジルにおける木材生産のうち持続可能な経営が行われている森林からのものは僅かでしかないことを指摘するとともに、持続可能な利用に向けての転換について報告した。



写真 第15回 ITTO 理事会における塚本林野庁長官の挨拶

これらの基調報告は、議長によって「結論と報告」を含んだサマリー案としてまとめられ、これをもとに以下のような点について参加者より活発な討議がなされた。

- ①亜寒帯林・温帯林についての持続可能な経営の実施状況に関すること。
- ②熱帯林の経営に対して、熱帯林諸国は利用面を重視しているのに対し、先進国は保全面を重視しているということ。
- ③熱帯林諸国による持続可能な経営の達成のための資金の必要性。
- ④持続可能な経営の経済性の可否。
- ⑤持続可能な経営がなされているか否かについての判断の仕方。

なお、最後に議長は「熱帯林及び温帯林諸国からの参加者全員が、持続可能な経営の実現に向けて真剣に取り組んでいることが良く理解できた。しかし、知識だけでは不十分であり実践を伴うことが大切であるので、持続可能な経営の達成に向けた行動を期待する」と述べて本セミナーを締めくくった。

以上のように、第二回目を迎えた「シニアフォレスター会議フォローアップセミナー」も盛況裏のうちに終了した。我々の出来るこのような地道な活動が、少しでも熱帯天然林の持続的な経営の確立に役に立てば幸いである。なお、来年度は宮崎県において生物多様性をテーマに開催する予定である。

日 程 表

11/5 (金)	東京→旭川（飛行機）/北海道立林産試験場視察 ビデオ・セッション（東大北海道演習林） 富良野市内宿泊
11/6 (土)	東京大学北海道演習林・旭川営林支局金山営林署管内国有林視察 金山→札幌（バス） 北海道知事主催レセプション/札幌市内宿泊
11/7 (日)	セミナー（北方圏センター）/基調報告及び討議 林野庁長官主催レセプション/札幌市内宿泊
11/8 (月)	新王子製紙林木育種研究所・北大付属植物園等見学/セミナー/全体討議/札幌→東京（飛行機）